

健栄の健胃散

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

- 2.1 ナトリウム摂取制限を必要とする患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等）〔ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化するおそれがある。〕〔9.1.2、9.2参照〕
- 2.2 ヘキサミン投与中の患者〔10.1参照〕

3. 組成・性状

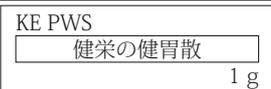
3.1 組成

有効成分	100g中 ニガキ末 30g 炭酸水素ナトリウム 70g
------	------------------------------------

3.2 製剤の性状

性状	淡褐色の粉末で味は苦い。
----	--------------

分包品の原形および識別コード

	外形	識別コード
1g×3連包		KE PWS

4. 効能又は効果

下記消化器症状の改善

食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐

6. 用法及び用量

通常成人1回1gを1日3回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.1.1 重篤な消化管潰瘍のある患者

炭酸水素ナトリウムを配合しているため、症状が悪化するおそれがある。

9.1.2 心不全の患者、高血圧症の患者

ナトリウム過剰により、これらの症状が悪化するおそれがある。〔2.1参照〕

9.1.3 肺機能障害のある患者

呼吸性アルカローシスになるおそれがある。

9.1.4 低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者

症状が悪化するおそれがある。

9.2 腎機能障害患者

ナトリウム貯留による浮腫があらわれるおそれがある。〔2.1参照〕

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

9.8 高齢者

患者の状態を観察しながら慎重に使用すること。一般に生理機能が低下していることが多い。

10. 相互作用

10.1 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ヘキサミン（ヘキサミン静注液）〔2.2参照〕	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。

10.2 併用注意（併用に注意すること）

本剤は制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。

20. 取扱い上の注意

本剤は原料に生薬が含まれているので、その産地、採取時期等により、製品の色調、味等が一定しないことがある。また、黒色様のものが認められることもあるが、原料生薬由来によるもので、薬効に変化はない。

22. 包装

バラ：500g（ポリエチレン袋）

分包：1g×1,050包

24. 文献請求先及び問い合わせ先

健栄製薬株式会社 学術情報部

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号

電話番号（06）6231-5822

FAX番号（06）6204-0750

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

 **健栄製薬株式会社**
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号